

シンポジウム 都市・地域環境の再生に向けて 自然共生型流域圏の構築と

開催趣旨

わが国は、地域・地球規模での環境の変化と人口減少社会の到来、という自然および社会環境の変化に直面しています。日本学術会議「国土と環境分科会」では、このような変化に対応するための社会のあり方として、「自然共生型流域圏の構築と都市・地域環境の再生」について、主に学術的な観点から継続的に議論を行ってきました。このシンポジウムでは、これまでなされた議論の経緯を報告するとともに、行政や民間などで実務に携わっている方々の参加も得て、国土のあるべき姿やその実現に向かっての方向性を議論していただき、わが国が進むべき道を導くことを目的としています。

プログラム

- 13:00 開会あいさつ 村上周三 慶應義塾大学教授、土木工学・建築学委員会委員長、日本学術会議会員
- 13:05 総括講演 「いまなぜ自然共生型流域圏の構築と都市・地域環境の再生か」
池田駿介 東京工業大学教授、国土と環境分科会委員長、日本学術会議会員
- 13:25 小委員会報告
- (1)「自然共生型流域圏の構築」小委員会 13:05～13:25
石川幹子 東京大学教授、日本学術会議会員
- (2)「都市・地域環境の再生」小委員会 13:45～14:05
大西隆 東京大学教授、日本学術会議連携会員
- 14:05 休憩（10分間）
- 14:15 講演
- 論点1：これからの土地利用のあり方 14:15～14:45
発表： 小松利光 九州大学教授、日本学術会議連携会員
コメンテータ： 嘉門雅史 京都大学教授、日本学術会議連携会員
- 論点2：地方都市の再生 14:45～15:15
発表： 兼茂寿太郎 熊本県立大学理事長、日本学術会議連携会員
コメンテータ： 藤盛紀明 清水建設(株)技術研究所顧問、日本学術会議連携会員
- 論点3：行政とNPOの協働とガバナンス 15:15～15:45
発表： 進士五十八 東京農業大学教授、日本学術会議会員
コメンテータ： 木下勇 千葉大学教授、日本学術会議連携会員
- 論点4：国土管理・環境マネジメントの技術論 15:45～16:15
発表： 吉川勝秀 日本大学教授、日本学術会議特任連携会員
コメンテータ： 辻本哲郎 名古屋大学教授、日本学術会議連携会員
- 16:15 パネルディスカッション 「人と風土の新たな関係を目指して」
- 論点報告1：地域再生の戦略
山本繁太郎 内閣官房 地域活性化統合事務局長
- 論点報告2：人口減少・少子高齢化時代の地域構造はどう変革すべきか
三浦展 カルチャースタディーズ研究所主宰
- 論点報告3：国際交流時代の地域経済と都市の活力
松原宏 東京大学教授、日本学術会議連携会員
- 論点報告4：自然共生型流域圏の展開
竹村公太郎 (財)リバーフロント整備センター理事長
- パネルディスカッション
コーディネーター： 大西隆 東京大学教授、日本学術会議連携会員
- 17:55 閉会あいさつ 池田駿介 東京工業大学教授、国土と環境分科会委員長、日本学術会議会員

会場：日本学術会議講堂
(地下鉄千代田線「乃木坂」駅下車 青山霊園方面出口(出口5番)より徒歩1分)
〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34 TEL: 03-3403-6291 (代表)

人数：定員 280人 参加費用：無料

申込方法：E-mailもしくはFaxにて必要事項(氏名、所属、連絡先電話番号、E-mailアドレス)をご記入の上、問い合わせ先担当宛、お申し込みください。
* 定員(280名)となり次第、締め切りとさせていただきます。

お問合せ・申込先：
北海道大学大学院工学研究科北方圏技術政策学専攻 担当 清水康行
E-mail:yasu@eng.hokudai.ac.jp Fax:011-706-7164

主催 日本学術会議 土木工学・建築学委員会「国土と環境分科会」
日本学術会議 環境学委員会「環境政策・環境計画分科会」

後援(予定)

国土交通省、文部科学省、環境省、農林水産省、経済産業省
(社)土木学会、(社)日本建築学会、(社)日本都市計画学会
(社)農業農村工学会、(社)日本造園学会



2008
3/17 (月)
13:00-18:00
日本学術会議講堂